

第 275 回化学コロキウムのお知らせ

日時： 平成29年4月28日(金)16:30～17:30

場所： 11号館 201室

講師： 武田 俊一 教授（京都大学医学研究科）

題目：女性ホルモンによる発がん機構

長寿社会の日本では、死因の半数近くがガンである。乳がんは比較的若い女性に多いのと、先進国で出産する女性の年齢が上がるにつれて増加していることから、乳がん治療の研究には世界的に多くの研究費が投資されている。乳がんの多くは、もとの乳腺細胞のように、女性ホルモンによって増殖が刺激される。出産する年齢が上がるにつれて乳がんの頻度が増加する現象は、高齢の女性ほど乳腺細胞に変異が蓄積した結果、微小乳がんが増加し、その微小乳がんが妊娠に伴う大量の女性ホルモンによって増殖することが原因とされてきた。最近、我々は女性ホルモンが変異の原因にもなりうることを見つけた。本セミナーでは、乳がんや女性ホルモンの発がん性についての既知の知見を解説する。次に我々が進めている2つの研究：(1)BRCA1欠損はなぜ女性臓器(乳腺と卵巣)にのみがんを起こすか？、(2)米国との共同研究(環境ホルモンの変異原を解析するバイオアッセイの開発)について講演する。

連絡先：理工学研究科分子物質化学専攻 廣田耕志（内線3535, khirota@tmu.ac.jp）